



平成 29 年 7 月 27 日

各 位

会 社 名 木 徳 神 糧 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 平 山 惇
 (コ ー ド 番 号 : 2 7 0 0)
 問 合 せ 先 取 締 役 常 務 執 行 役 員
 管 理 部 門 統 括 稲 垣 英 樹
 電 話 番 号 0 3 - 3 2 3 3 - 5 1 2 1

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 5 月 9 日の平成 29 年 12 月期第 1 四半期決算発表時に開示した平成 29 年 12 月期第 2 四半期累計期間（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）及び通期（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）の連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 第 2 四半期累計期間の連結業績予想数値の修正（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	50,660	420	450	640	75.48
今回発表予想 (B)	50,000	280	330	640	76.81
増減額 (B - A)	△660	△140	△120	0	
増減率 (%)	△1.3	△33.3	△26.7	-	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 12 月期 第 2 四半期累計期間)	54,236	726	759	591	69.71

2. 修正理由

当第 2 四半期連結累計期間の売上高については、海外の主要な生産国の豊作基調や在庫過多を背景に国際相場に連動するミニマム・アクセス米の販売単価が前年同期比大幅に下落しているなか、ミニマム・アクセス米の取扱数量が前年同期を下回る水準で推移したこと、また、国内の平成 28 年産米の販売単価は上昇したものの、卸業者間の玄米販売が低調で販売数量が減少したことから、前回発表予想を下回る見通しです。

また、利益については、主力の米穀事業において国内の平成 28 年産米の仕入コストが大幅に上昇しているなか、中食等向けの販売は堅調に推移したものの、スーパーや外食等向けの採算が悪化したこと、加えて食品事業や鶏卵事業の不振が続いたことから、前回発表予想を下回る見通しです。

3. 通期の連結業績予想数値の修正（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	102,580	1,000	1,040	1,040	122.65
今回発表予想 (B)	102,580	740	760	920	110.42
増減額 (B - A)	0	△260	△280	△120	
増減率 (%)	-	△26.0	△26.9	△11.5	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 12 月期)	102,797	1,061	1,116	918	108.32

4. 修正理由

通期の連結売上高については、主力の米穀事業において今年後半から取引が始まる国内の平成29年産米の新米価格は平成28年産米の価格を上回り、二年連続高値でスタートすると予想されるなか、消費者の生活必需品や外食等に対する節約志向が根強く、コメ消費の落ち込みが想定されますが、概ね前回発表予想通りと見込んでおります。

また、連結営業利益と連結経常利益については、当第2四半期連結累計期間の利益見通しは前回発表予想を下回るほか、高値で始まる国内の平成29年産米の新米販売の先行きが不透明であること等から、前回発表予想を下回ると見込んでおります。

(注) 本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは大きく異なる場合があります。さらに業績に影響が生じる場合は、判明次第お知らせいたします。

以上